

道教組

2020年6月24日発行

DOKYOSO NEWS VL.572

教職員とその家族を守る
全教自動車保険

5つの特徴

- ①無事故割引を引き継ぎます
- ②団体扱い割引を10%に拡大
- ③家族の車もまとめるとさらに割引
- ④退職者もメリット引き継ぎで安心
- ⑤申し込んだその日から安心

有限会社 川上企画

(道教組指定代理店)

札幌市中央区大通西12丁目4-78
TEL:0120-222-789 FAX:011-218-2472

再開後の学校づくりへ提言を発表 子どもたちが生き生きと学べる コロナ収束後の学校づくりを…

道教組オンライン学習会を受け、
再開後の学校づくりへ提言

道教組は、5月16日に開催したオンライン学習会「学校再開後の学校づくりを考えよう」を受けて、「提言『子どもたちが生き生きと学べるコロナ収束後の学校づくりを…』」を作成しました。私たちの「教師の専門性」を發揮させ、今後の学校づくり、教育課程づく

りの議論をいっそう豊かにしていくために、各地で、この提言を積極的に活用してください。

「子どもの最善の利益」を最優先に、学校、教育課程づくりを

長期間の臨時休校は、子どもの生存と権利実現のための重い役割を学校が担っていたことを鮮明にしました。い

【提言】子どもたちが生き生きと学べる
コロナ収束後の学校づくりを…

2020年5月 全北海道教職員組合・北海道子どもセンター



「子どもの最善の利益」を最優先に、学校、教育課程づくりを

まだかつて経験したことのないコロナ禍の危機に際し、私たちは、学習指導要領、授業時数確保を優先した学校再開ではなく、憲法と子どもの権利条約にもとづき、「子どもの最善の利益」を保障する立場から、学校としてなすべきことは何であるかを吟味し、合意していく時間と空間を意識的に創りだしていくことが重要です。

道教委は、「学びの保障」について通知しこれまでと変わらない「授業時数至上主義」の姿勢をあらさまに示しています。市町村教委では、そうした通知をもとにして、多くの自治体で、すでに長期休業の大幅短縮、7時間授業や土曜授業が計画されています。

休校が長期化し、今後の第2波、第3波も予想される中で、新学習指導要領の完全実施を前提とすることは、子どもを追い詰めていくことにしかありません。前提とすべきは学習指導要領ではなく、子どものための教育をどうつくりあげるかということです。

道教委は、「授業時数を確保するための取組」について「児童生徒の過度な負担とならないよう十分配慮することともに、地域や学校の実情を踏まえ」るよう、各学校の柔軟な対応を認めています。私たちは、新学習指導要領を押しつけないことを教育行政に求めるとともに、各学校で、「子どもの最善の利益」のための教育課程づくりに力を注いでいきたいと思います。

道教組定期大会を オンラインで開催

コロナ感染防止のために延期していた道教組第33回定期大会を、6月6日にオンラインで開催しました。傍聴者を含め48名が参加しました。

短時間での開催でしたが、討論では、コロナ感染症や変形労働時間制導入反対に関するとりくみが組合への信頼につながっていることなどが報告されました。



大会での発言から

- ・コロナ感染症による休校や学校再開などの度に、管内全市町村教委への要請、懇談を3回実施した。非常勤職員の勤務改善などの成果があり、組合の信頼にもつながった。
- ・分散登校期間中は、学級を2グループに分け、少人数で目が行き届いた。再開後は、机間が33cmしか空いていない。
- ・変形労働時間制導入について議会申請にとりくんだ。議員も、教育長も、教員の勤務時間も業務量も問題で、教員が足りないとの認識で一致できた。
- ・昨年度末に、「今、なぜ組合に？」の思いを語り合う場をつくり、組合員でいることの意味を再確認できた。
- ・支部代表者会議をオンラインで行ったところ、これまで遠距離のため参加できなかった支部からの参加もあった。

子どもたちに少人数学級を！ 知事・道教委宛にネット署名

20人以下の授業を可能とする 教職員増を求め、ネット署名

分散登校期間中は、学級が2グループに分けられて、少人数のよさを子どもも教員も実感しました。

6月1日から学校が再開されましたが、40人学級では3密を解消できません。道教組は、他団体や教育関係者とともに「20人以下学級北海道アクション」を立ち上げ、学校再開された6月1日から3週間、道と道教委宛のネット署名を呼びかけました。

署名では、20人以下の授業を可能とする教職員増などの条件整備をすすめることも、国に予算要望することを求めています。

署名を呼びかける街頭宣伝を、6月9日には札幌パルコ前で、18日には道庁前で実施しました。道庁前宣伝は帰宅時刻と重なり、たくさんの方の道職員の方へチラシを手渡すことができました。



1236筆の署名を提出

3週間という短期間のとりくみでし

たが、目標を上回る1236筆もの署名が集まりました。女性の署名がとても多く、子育て中の母親の関心が高かったことがうかがえました。

署名提出には、27名の呼びかけ人のうち、姉崎洋一さん（北海道大学名誉教授）、石岡伸子さん（新日本婦人の会北海道本部）、河野和枝さん（子どもと教育・文化道民の会）が参加しました。対応した道や道教委の担当者からは、学校への人的・物的支援、子どもたちの学習のサポートをしつかり行っていきたいとの回答がありました。



えがお署名、教育全国署名も、 20人以下学級実現を前面に

北海道のとりくみなどを受けて、全教は、えがお署名について20人以下学級実現を前面に押し出したネット署名を開始しました。教育全国署名の要請項目も「20人以下学級」を展望した「少人数学級」との文言を加えました。

先の国会でも「20人以下学級」が議論され、安倍首相は「検討していきたい」と答弁しました。少人数学級実現に向け、世論は高まっています。ネットによるえがお署名は、このQRコードから参加できます。



教員採用試験の感染症対策 について、要請書を提出

道教委は、6月28日に実施する教員採用候補者選考検査における感染症などへの対応について、体調不良者等に対して受験を控えるよう「お願い」しながらも、再試験等の対応は行わないとする対応を受検者に示しました。

総務省の通知では「再試験の検討等柔軟な試験日程の配慮」を示しており、再試験を行わない道教委の冷たい対応は看過できません。

道教組は、道高教組とともに道教委へ緊急の要請書を提出し、再選考検査の実施など救済措置を講じることなどを強く求めました。

道教組第2回オンライン学習会 再開後1か月の学校を語ろう！

日時 7月4日(土) 13:30~15:30
開催 Zoomによるインターネット会議
内容 学校づくりについてのリレートーク
参加者によるグループ交流

申し込み 事前の申し込みが必要です

- *申し込み後、ID等をお知らせします。
- *道教組Facebookページのイベントから申し込むか、道教組へメールで申し込んでください。

道教組メール dokyoso@seagreen.ocn.ne.jp

